

この夏

中学生・高校生に

読んでほしい

50冊



お気に入りの1冊を  
見つけてみませんか？

## オレたちも、死んだ人が見たい！

ぼくたちは、「もうじき死ぬんじゃないか」と噂されている一人暮らしのおじいさんを見張りはじめた。やがておじいさんと口をきくようになったぼくたちは、その夏、様々なことを知った…。

『夏の庭』 湯本香樹実

## 私の体が盗まれた!!?

おしゃべり好きな赤毛の女の子カーリーは魔女の罠にはまり、自分の体を奪われおばあちゃんの体に…。魂を入れ替えた後13カ月と13週と13日経過すると、もう元には戻れない!?

『13カ月と13週と13日と満月の夜』 アレックス・シアラー

## 子どもだけで無人島サバイバル!?

15人の少年たちだけを乗せた船が、大嵐にもまれたすえ島が大陸の一部かもわからない岸边に漂着。彼らは生きるため、さまざまな工夫を重ね、スリルに満ちた生活を繰り広げる!

『十五少年漂流記』 ジュール・ヴェルヌ

## 曲がり角の向こうには 何が待っているかわからないわ

ちょっとした手違いから、グリーン・ゲイブルスの老兄妹に引き取られたやせっぽちの孤児アン。初めは戸惑っていた2人も、明るいアンを愛するようになり…。

『赤毛のアン』 L・M・モンゴメリ

## ぼくの記憶は80分しかもたない

記憶力を失った博士にとって、私は常に“新しい”家政婦。やがてぎこちない日々は驚きと喜びに満ちたものになる。あまりに悲しく温かい、奇跡のラブストーリー。

『博士の愛した数式』 小川洋子

## その火を飛び越してこい。

きらめく海とまぶしい太陽が降りそそぐ島で、日焼けした逞しい青年と目元の涼し気な少女が会う。島での人間関係や思惑を背景に、惹かれあう二人はそれぞれの困難を乗り越えていく。

『潮騒』 三島由紀夫

## ぼくらはいつも迷ってる。 どれが自分の色だかわからなくて。

「抽選に当たりました！」天使が、一度死んだはずのぼくに言った。そうして他人の体にホームステイすることになったぼくは、下界生活に舞いもどり、前世で犯した悪事を思い出すことに…。

『カラフル』 森絵都

## エ、スイソウガク!?

引っ込み思案の中学生の克久は、ひょんなことから入学後ブラスバンド部に入部する。先輩や友人、教師に囲まれ、戸惑いながらも音楽に夢中になり…。みずみずしい青春部活小説!

『楽隊のうさぎ』 中沢けい

## 友だちって、なんだろう?

クラスの誰とも付き合わなくなった恵美ちゃんと由香ちゃん。デキる転校生がなんとなく面白くないブンちゃん。優等生にひねた奴。弱虫に八方美人。それぞれの物語がちりばめられた、「友だち」のほんとうの意味をさがす連作長編。

『君の友だち』 重松清

## みんなと走りたい。

陸上部部長の柗井は、中学最後の駅伝大会に向けてメンバーを募り練習をはじめが…。寄せ集めの6人が県大会出場を目指して、たすきをつなぐ青春小説。

『あと少し、もう少し』 瀬尾まいこ

## ただ歩くだけなのに なんて特別なんだろう

全校生徒が夜を徹して歩きとおすという、高校生活最後を飾るイベント「歩行祭」。甲田貴子は密かな誓いを胸に抱いて、歩行祭に臨んだ。三年間、誰にも言えなかった秘密を清算するために――。

『夜のピクニック』 恩田陸

## あなたが会いたいのは誰?

一生に一度だけ、死者との再会を叶えてくれるという「使者(ツナグ)」。ツナグの仲介のもと、再会した生者と使者。それぞれの想いをかかえた一夜の逢瀬は何をもたらすのか…。

『ツナグ』 辻村深月

## 「速く」ではなく「強く」!

箱根駅伝を走りたい——そんな灰二の想いが、天才ランナー走と出会って動き出す。自分の限界に挑戦し、ゴールを目指して襷をつなぐことで、仲間とつながっていく!

『風が強く吹いている』三浦しをん

## 出張先は火山にジャングル、無人島…

鳥類学者、それは神に選ばれし存在である。スマートな頭脳に加え、過酷なフィールドにいつでも出張できる体力が必要なから。知られざる鳥類学者の抱腹絶倒、命がけの日々!

『鳥類学者だからって、鳥が好きと思うなよ。』川上和人

## わたしのおばあちゃんは、魔女。

中学に進んでまもなく、どうしても学校へ足が向かなくなった少女まいは、西の魔女と呼ばれる祖母のもとで、魔女の手ほどきを受けるのだが、魔女修行の肝心かなめは、なんでも自分で決める、ということだった。

『西の魔女が死んだ』梨木香歩

## 大切なことは、目に見えない

砂漠に飛行機で不時着した「僕」が出会った男の子。それは、小さな小さな自分の星を後にして、いくつもの星をめぐるから七番目の星・地球にたどり着いた王子さまだった…。

『星の王子さま』サン・テグジュペリ

## 心と言葉が豊かになる

悲しいとき、寂しいとき、心が疲れたとき、1編の詩との出会いが、心を支えてくれることがあります。大人になるってどういうこと?自分はどう生きていたい?隙間時間に楽しめる、音読にもおすすめの詩集。

『中学生に贈りたい心の詩』水内喜久雄/編著

## だれにも言えない、12歳のぼくの秘密

今度、学校で演劇のオーディションが開催される。ぼくは、女神の役をやりたい。「男の子が女の子の役をやるんだって!」と言われるだろう。けれど、ぼくは自由に自分らしく生きたい——!

『ぼくがスカートをはく日』エイミ・ポロンスキー

## 春が来た、けれど沈黙の春だった

町にある時、暗い影が差す。まず家畜が、そして人々が次々に病気になり命をおとす。春を告げる鳥たちの声は聞こえず、小川からも命の気配が消えた。深刻な環境汚染への警告を初めて発した書。

『沈黙の春』レイチェル・カーソン

## こころの不思議

「耐える」だけが精神力ではない。心の支えは、時にたましいの重荷になる。ずっと好きだったものが急に嫌いになった時は別のものを探せばいい、など臨床心理学者の作者が綴った55章の読んで治す心の処方箋。

『こころの処方箋』河合隼雄

## 勉強はできないけどモテる

成績は悪いが女性にはよくモテる17歳の男子高校生、時田秀美。今は年上の女性と熱愛中。そんな秀美に母親と祖父は理解があるけれど、どうも学校は窮屈で居心地が悪い。

『ぼくは勉強ができない』山田詠美

## 18歳、ひと夏の罪。

セシルはプレイボーイ肌の父レイモンとその恋人と南仏の海辺の別荘でバカンスを過ごすことに。そこで大学生のシリルとの恋も芽生えるが、父がもうひとりの恋人との再婚に走り始めたことに気づき、ある計画を思い立つ——。

『悲しみよ こんにちは』サガン

## Q. どんな1年にしたいですか?

アンケート用紙に本音なんて書かない。それでも見えてくる、ややこしくて、ばからしくて、せつない、中3の胸に宿る思い。学校や塾のアンケートに答えていくことで、自分のほんとうの気持ちに気づいていく青春小説。

『Q→A』草野たき

## 私だけのはずだったのに

“たとえ”という名の男子に恋をした女子高生・愛。彼の恋人が同級生的美雪だということを知り、二人の穏やかな交際が理解できずに苛立ち、ついにはなぜか美雪の唇を奪う——。

『ひらいて』綿矢りさ

## バカをやってもいいじゃない！

貧しくも秀才のマルティン、臆病なウーリ、詩人ジョニー、クールなザバステアーン。個性豊かな少年たちが織りなすクリスマスの名作。たとえ運が悪くとも、打たれ強くあれ！

『飛ぶ教室』ケストナー

## 暴き出される生々しい本音

就活対策のため、アパートに集まるようになった拓人、光太郎、瑞月、理香、隆良の5人。ツイッターや面接で発する言葉の奥に見え隠れする本音や自意識が、彼らの関係を次第に変えて…。

『何者』朝井リョウ

## こんな夢を見た。

現在をはじめ、神代・鎌倉・100年後と、10の夢の世界によって構成される幻想的で不思議で少し不気味な短編集。一夜一夜は独立しているものの、どこか繋がっているようで…。小説としても画集としても楽しめる1冊。

『夢十夜（乙女の本棚）』夏目漱石

## ある朝、グレゴール・ザムザは一匹の毒虫になっていた

ある日、気がかりな夢から目をさますと、自分が一匹の巨大な虫に変わっているのを発見する。絶望か、孤独か、失恋か…。何が彼を虫に変えてしまったのか。人類の苦悩を描いたカフカの代表作。

『変身』カフカ

## 7日間で真実をつきとめろ。

ある日、招かれたスイスの大邸宅で見たものは、巨匠ルソーの名作「夢」に酷似した絵画だった。謎の古書を読み解き、正しく真贋判定した者にはこの絵が譲られるという…。ルソーとピカソ、2人の天才がカンヴァスにこめた想いとは――。

『楽園のカンヴァス』原田マハ

## 「お捜し申し上げました」

謎の男に、突然異界へと連れ去られた高校生の陽子。見知らぬ国で出会う者に裏切られ、異形の獣に襲われ…。なぜ少女は異界へ迎えられたのか。故国への帰還を誓い、怒涛の如く押し寄せる苦難に、ただ一人で立ち向かう！

『月の影 影の月』小野不由美

$$x^n + y^n = z^n$$

をみたすような自然数  $x, y, z$  は存在しない

「私はこの命題の真に驚くべき証明をもっているが、余白が狭すぎるのでここに記すことはできない。」数学界最大の超難問「フェルマーの最終定理」への挑戦が始まった――！

『フェルマーの最終定理』サイモン・シン

## 一人でいたいのに、誰かと繋がりたい

人と交流するのが苦手な大学生・富山。そんな彼の唯一の趣味はラジオを聴くことだったが、バイト先で出会った、ラジオのハガキ職人・佐古田との出会いが富山を少しずつ変えていき――。

『明るい夜に出かけて』佐藤多佳子

## やはり、人間というものが恐ろしい

人が何を考えているのか感じるができなかった葉蔵は、人への恐怖と不安を抱えていた。女にまみれ、酒におぼれ、薬におぼれ、葉蔵の人生は時に小さな幸せを感じながらもどん底へ落ちていく――。

『人間失格』太宰治

## 夏、開廷の日は近い。

クリスマス未明、一人の中学生が転落死した。謎の死への疑念が広がる中、“同級生の犯行”を告発する手紙が関係者へ届く。刑事を父にもつ藤野京子は級友の死の真相を知るべく、「学校内裁判」の開廷を決意する！

『ソロモンの偽証』宮部みゆき

## ンメエアァアーツ!!!

「チャンバラダンスなんだよ、お前の剣道は」剣道エリート「剛」の香織と、「兵法がどうたらこうたら、時代錯誤もいいとこだっつーの」日舞から転身した「柔」の早苗。2人の勝負の行方は？ 真の強さとは？ 痛快エンターテインメント！

『武士道シックスティーン』誉田哲也

## 少年ジャンプより燃える

まだ世界と日本の間で不平等条約が結ばれていた明治時代。後に慶応義塾大学を開いた福沢諭吉が「学問をすることで個人一人一人が独立し、一家が独立し、ひいては国家の独立につながる」と熱く語った本。読むとやる気が出るかも。

『学問のすすめ』福沢諭吉

## ぼくはですね、人魚なんです

田舎町に有名人の娘「海野藻屑」が転校してきた。美少女だが「すげえ変」な藻屑に「友達になって」と言われたクラスメイトのなぎさ。だが、ただの変人だと思っていた藻屑は父親に虐待を受けていた。

『砂糖菓子弾丸は撃ちぬけない』 桜庭一樹

## わたしはだいじょうぶ

カリプソは妻を亡くしたショックから立ち直れない父親と二人で暮らしている。最近、本好きな友達ができて嬉しいけど、父親の状態がどんどん悪くなっていき…。若者が家族の介護をするヤングケアラー（若い介護者）のお話。

『レモンの図書室』 ジョー・コットリル

## いつか変形菌と話したい

ネバネバしてムニムニ動き、どんどん形を変えていき突然キノコのような姿に変わる「変形菌」5歳の時にテレビで観て興味を持った増井君は変形菌を見つけては持ち帰り育てます。変形菌って、何!?

『世界は変形菌でいっぱいだ』 増井真那

## Who が？—You が。

風我と優我は双子の男の子。二人の誕生日に、ある不思議な現象が起こることに気が付いた。それに気が付いたディレクターの男が双子の一人に話を聞きに来て…。一方、世間では小学生が殺される事件が起きていた。犯人は、誰？

『フーガはユーガ』 伊坂幸太郎

## 野生生物と共存するってどんなこと？

あたりが暗くなるとゾウの群れが畑にやってくる。お父さんたちは火を焚いて寝ずの番をするが、お父さんがゾウに襲われて殺されないか心配で眠れない…。自然保護区域周辺の村で起こっていること。

『ぼくの村がゾウに襲われるわけ。』 岩井雪乃

## 誰にも言えない等身大の秘密

五島列島のある中学合唱部では、コンクール出場に向けて練習する毎日が続いていた。期限つきで指導を引き受けた柏木は、課題曲「手紙～拝啓十五の君へ～」にちなみ、十五年後の自分に向けて手紙を書くよう、部員たちに宿題を出すが一——。

『くちびるに歌を』 永田永一

## 楽しいって、 勝つことだけについてくるん？

自信が持てず臆病で不器用な初心者、早弥。ターゲットパニックに陥った天才肌、実良。黒人の父を持ち、武士道を愛する少年、春。弓も心も、強く握らず、ふんわりと握って。

『たまごを持つように』 まはら三桃

## あなたに代わって、お届けします

鎌倉の山のふもとにある、小さな古い文房具屋さん「ツバキ文具店」。店先では、主人の鳩子が、手紙の代書を請け負います。お品書きから、祝儀袋の名前書き、離婚の報告、絶縁状まで…。

『ツバキ文具店』 小川糸

## 大人たちへ宣戦布告だ！

1学期の終業式の日、東京下町にある中学校の1年2組の男子生徒全員が姿を消した。彼らは河川敷の廃工場に立てこもり、体面ばかりを気にする教師や、大人たちへ叛乱を起こす！

『ぼくらの七日間戦争』 宗田理

## とりあえずメシを食え。

工事現場で力仕事をしている母親と二人暮らしの花実は貧乏だがまっすぐに生きている。辛いことはあるけど、それも抱えていつか大人になろう。当時14歳の著者が書いた5編からなる連作。

『さよなら、田中さん』 鈴木るりか

## こここ怖い、わら、わわ笑われたくない

小学校の頃から吃音に悩んできた悠太は、「誰でも上手に声が出せるようになります」という言葉にひかれて放送部に入部する。くじけながらも少しずつ変わっていく悠太の葛藤と成長の物語。

『僕は上手にしゃべれない』 椎野直弥

## いい人の定義ってなんだろう

人の悪口を言わないし、掃除はサボらないし、「宿題を見せて」と頼まれたら、気前よく見せる人。「いい人」と呼ばれるのは、良いことだと思っていたけれど…。

『いい人ランキング』 吉野万里子

## 私たちはずっと前から隣人です。

「私のふるさとは、日本です。」漢字にも負けず、豚肉にも負けず、水着にも負けず…。日本という異文化に投げ込まれたイランの少女ナディが、28年間過ごしてきた日本での日々を綴る。

『ふるさとして呼んでもいいですか』ナディ

## 剣に生きる者は、剣に死ぬ

幕末最強の武装集団を作り上げた、新選組副長土方歳三。彼の青春時代から最後の時までの生涯。「剣に生きる者は、剣に死ぬ」の言葉通り、この時代を生きた侍たちの物語。

『燃えよ剣』司馬遼太郎

